

Honda Technical College Kansai -TEC TIMES

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL. 072-366-9011 FAX.072-360-2230

発行責任者 校長 海沼 弘樹

ホームページ・ケータイ サイト

https://www.hondacollege.ac.jp/honda_w



SPORTS FESTIVAL 2025



2025.5.29
クラス対抗!
スポーツ大会

5月29日(木)、大阪狭山市立総合体育館にて、全学生が参加してのスポーツ大会を実施しました。今回は屋内開催としたことで天気の心配もなく、クラス対抗の「ドッジボール」と「大縄跳び」を実施し、大変盛り上がりました。スポーツ大会の目的である「クラスメートと更なる親睦を深め、一致団結して競技に取り組む」を達成できました。



2025 6/21 学校見学会

6月21日(土)、ご家族の皆様を対象とした「学校見学会」を実施いたしました。

実際の授業の様子や、クラス担任との懇談を通じて、お子様の真剣に学ぶ姿をご覧いただけたことと思います。

また、見学会後には後援会総会を実施いたしました。

ご家族の皆様、お忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございました。

真剣に学ぶ
我が子の成長を
直接感じられる
貴重な機会と
なりました!!





接遇マナー研修

4月15日(火)、16日(水)の2日間、一級自動車整備士コース4年生が接遇マナー研修を実施しました。
目的は、この後に実施するインターンシップに向けての事前研修です。インターンシップ受入先には必ずお客様がいらっしゃいます。周りの全ての人に思いやりの心を表現し伝えること、それが接遇マナーです。学んだことをインターンシップで活かしていただきたいと思います。



自転車安全運転講習

5月27日(火)、和歌山県の紀北自動車学校で自動車整備留学生科1年生を対象とした「自転車安全運転講習」(座学・シミュレーター・コースでの実技)を実施しました。留学生にとっても日本で自転車に乗る時のルール、マナーを教わるとてもいい機会となりました。また、傘さし運転やスマホを見ながらの運転も非常に危険であることも実際に体験し、理解できたと思います。
※講習の目的:日本で自転車乗車におけるルールやマナーを身に付け実践する。自転車事故をゼロにする。



自動車研究開発コース3年生が、校外研修でHondaの事業所や関連企業を訪問しました。初日は埼玉県の本田技術研究所とHonda本社 和光ビルで次世代EV「Honda 0 シリーズ」のコンセプトカーを見学し、着座体験も実施。「どうなるかじゃない、どうするかだ。」という人事部のメッセージにも心を打たれました。
栃木県の開発・ものづくりセンターでSTEP WGN開発の裏側を学び、卒業



校外研修

生が多く在籍する「オートテックジャパン」や「HRCさくら」も訪問。卒業生との対話を通じて、業務のやりがいや楽しさに触れ、HRC開発室長からは「HondaにとってレースはDNA。F1で共に世界一を目指すメンバーが出てくれると嬉しい」と熱い激励を受けました。
普段見られない現場で、仕事のやりがいや役割の大切さを実感する貴重な機会となりました。

よく遊び、よく学ぶ。学生は部・同好会活動にも精力的に取り組んでいます。

オフロード部会

6月22日(日)、大阪府大東市のライダーパーク生駒で開催されたパークスファイブチャンピオンシップ第2戦に出場しました。マイラップスクラスFクラスでは、一級自動車研究開発学科3年生の中岡さんが総合2位を獲得。事故や怪我も無く、しっかり走り切りました。



H-TEC R&M部

6月28日(土)、静岡県の富士スピードウェイで開催された「N-ONE OWNER'S CUP」第4戦に出場しました。決勝のスタートはうまく決まり、事故もなくレースを終えることができました。
結果は、ゼッケンNo.645(JG3) 27位、ゼッケンNo.450(JG1) が44位となりました。



バドミントン部

6月29日(日)、大阪市立東淀川体育館にて開催された、関西専門学校バドミントン春季大会へ4名が出場しました。シングルス3名、ダブルス2組と学校対抗戦へエントリーしましたが、ほかの学校もレベルを上げてきており、結果は振るわず。
次回、秋の大会でのリベンジに向け、練習に励みます。



エコラン部

6月14日(土)、三重県の鈴鹿サーキットで開催されたHonda エコマイレージチャレンジ2025「本田宗一郎杯 第38回鈴鹿大会」の二輪車クラスへ出場しました。
結果はクラス4位、平均燃費135.250km/Lでした。目標であったクラス3位、燃費200km/Lには及ばせませんが、2022年の鈴鹿大会の記録を更新することができました。



教職員人事異動のご案内

新任

4月 谷口 敬 自動車整備科 (株式会社ホンダモーターサイクルジャパン)
里村 暢彦 一級自動車研究開発学科 (Honda コーポレート管理本部人事統括部)

異動

自動車整備科 ▶ 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

石川 剛

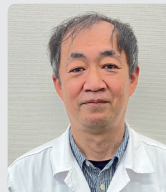
2025年4月1日より、HMJサービス部 サービス企画課に配属になりました。狭い世界ですので、きっと皆さんとまたどこかで会うでしょう。みなさんの成長を、速くよりお祈りしています。今後とも引き続き、人に愛され、信頼される技術者になってください。



異動

一級自動車研究開発学科 ▶ Honda 四輪事業本部四輪開発センター 宮川 純

2016年8月よりホンダ学園に赴任し、約9年間教員を務めてきました。今後は、四輪の開発業務を行う予定です。ホンダ学園では、足回り関連の授業を行ってきて、学生と一緒に車作りをしたことが、楽しい思い出です。学生に皆さんには、いろいろな事にチャレンジして将来やりたいことに向けて頑張ってください!



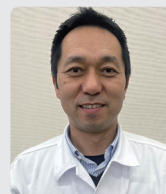
異動

4月 石川 剛 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン (自動車整備科)
木村 真也 Honda 統括機能センター 試作室 (一級自動車研究開発学科)
宮川 純 Honda 四輪事業本部四輪開発センター (一級自動車研究開発学科)
杉本 友里恵 退職 (一級自動車研究開発学科)
※()は異動前所属名称

異動

一級自動車研究開発学科 ▶ Honda 統括機能センター 試作室 木村 真也

ホンダ学園に赴任して4年が過ぎ、私もこの学校を卒業し新たなステージへチャレンジさせていただくことになりました。短い間でしたが学生の皆さんと共に私もこの学校で成長出来たと感じています。再びHondaの開発現場に戻る事となりますが、近い将来この学校の卒業生と共にHondaで働けることを楽しみにしています。ありがとうございました。



異動

一級自動車研究開発学科 ▶ 退職 杉本 友里恵

2019年に着任し、全国の高校で学園の周知活動を担当しました。2020年からは一級コースを受け持ち、学生の皆さんからたくさんパワーをもらいました。そうした中で、自身も現場で再度挑戦したいと思うようになりました。私自身も関西校の卒業生で、勉強も遊びも一番濃い学生生活を過ごせました。皆さんもホンダ学園で知識・技術を習得し、仲間をつくり、これからの人生を楽しんでいってください。

